



## 消防防災分野の国際協力について

### 参事官

開発途上国では、経済発展・都市化が進む過程で、消防防災体制の充実化が必要となってきます。これに伴い、我が国の消防防災の知見、技術等を学び、取り入れたいという諸外国からのニーズも寄せられており、消防庁では、これに応ずるべく、消防本部、外務省、独立行政法人国際協力機構（JICA）等と連携・協力をしつつ、消防防災分野の国際協力を積極的に実施しています。

また、海外において大規模災害が発生した際に、我が国が実施する国際緊急援助においても、消防が培ってきた高度な救助技術と能力を海外の被災地で発揮できるよう、国際消防救助隊（IRT）の派遣体制を整えるとともに、隊員の能力強化に努めています。

ここでは、消防庁が実施している主な国際協力事業をご紹介します。

#### 【国際消防防災フォーラム】

アジア圏内の国を主な対象として、平成19年度から「国際消防防災フォーラム」を開催しています。これは、我が国の消防技術、制度等を広く紹介し、開催国の消防防災能力の向上を図ることを目指すもので、これまでベトナム、トルコ、タイ、インドネシア、モンゴル、ミャンマー、カンボジア、マレーシア、フィリピンの9か国で実施してきました。

また、本フォーラムには開催地の消防防災関係者が多数集うことから、我が国の消防防災関連機器メーカーにも参加していただき、プレゼンテーションや展示ブースを通じて製品を紹介することで、相手国政府や消防防災関係者に我が国の消防防災機器の質の高さを示す場としても、本フォーラムは活用されています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、オンライン形式により、これまでの主たるターゲットであったアジア圏のみならず、欧州、北米、南米、アフリカ、オセアニア等まで広く参加を呼びかけ、約60か国から1,200名を超える参加登録を得て、我が国消防の救助、予防、消防団に関するプレゼンテーションのほか、国連防災機関（UNDRR）駐日事務所や独立行政法人国際協力機構（JICA）によるスピーチや日系企業13社による製品紹介が行われました。

今年度は、ASEAN 諸国の消防防災関係者の参加を得て、シンガポールにて開催する予定です。これにより、我が国の消防防災の技術・制度や消防用機器等の海外における認知度がさらに高まるとともに、各国の消防防災能力の向上に寄与することを期待しています。

#### 国際消防防災フォーラム



会場内で日系企業が自社製品を紹介  
（令和元年度 タイ）



消防戦術に関するプレゼンテーション  
（令和元年度 タイ）



国際消防防災フォーラム  
（令和3年度 オンライン開催）



### 《令和4年度の国際消防防災フォーラムの概要(予定)》

開催日：令和5年3月1日(水)、2日(木)

開催場所：シンガポール

- 内 容：○我が国の消防用機器の規格・認証制度に関するプレゼンテーション  
○我が国の消防団に関するプレゼンテーション  
○日系企業によるプレゼンテーション  
○JICAによるプレゼンテーション  
○ASEAN諸国によるプレゼンテーション



横浜市消防局による救助活動事例報告  
(令和3年度 オンライン開催)



日系企業による製品紹介  
(令和3年度 オンライン開催)

### 【国際緊急援助活動】

国際消防救助隊(IRT)は、海外で大規模災害が発生した際、被災国からの要請に応じ派遣される国際緊急援助隊・救助チームの一員であり、派遣実績は、昭和61年の発足以来、21回を数えます。

消防庁では、今後の派遣に備えるため、国際緊急援助隊の一員となりうる消防本部の救助隊員を対象として、国際基準に沿った救助技術や知識等を取得するための訓練やセミナーを実施しており、各隊員が海外被災地において効果的な救助活動を行えるよう能力強化を行っています。

特に昨年11月、我が国の国際緊急援助隊・救助チームは、国際救助チームの能力を評価するIER(INSARAG External Re-Classification:外部再評価)を受検し、平成22年のIEC(INSARAG External Classification)、平成27年のIERに引き続き、最高分類である「Heavy(ヘビー)」の再認証を得ましたが、この場に参画したIRT隊員は日頃より培ってきた能力を遺憾なく発揮しました。

国際的にも我が国の救助チームが難易度の高い搜索救助現場で活動することを期待されていることから、国際消防救助隊の技術水準を向上させるための教育訓練を引き続き実施していきます。



メキシコ地震の際の搜索救助活動  
(平成29年9月JICA提供)



崩壊建物内の要救助者を救出するための訓練



【Heavy】級評価認証式



国際消防救助隊からIER受検に参加した隊員及びエクスコン

### 【開発途上国等への技術協力】

JICAと連携し、諸外国の消防士等を対象に消防本部の協力の下で課題別研修及び国別研修を行っています。研修員は、数週間から数ヶ月にわたって、日本の消防防災に関する知識や技術を身につけ、自国の消防防災能力の向上に役立てています。

#### ・課題別研修

課題別研修として、昭和62年度から「救急救助技術」研修、昭和63年度から「消防・防災」研修（平成25年度までは「消火技術」研修として実施）を実施しています。

「救急救助技術」研修は大阪市消防局において実施しており、これまでに74か国291名の研修員を受け入れています。また、「消防・防災」研修は北九州市消防局において実施しており、これまでに86か国292名の研修員を受け入れています。それぞれの研修では、訓練礼式等の基礎訓練から、実災害を想定した消火訓練や救助訓練まで幅広い分野の訓練を実施しています。

約30年間、毎年度実施してきた課題別研修ですが、昨年度、一昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響を受け、開催できませんでした。しかし、今年度は、各種の制限が緩和されたことから、通常より短い期間ではありますが、3年ぶりに、引き続き北九州市消防局において「消防・防災」研修を開講し、5か国から9名の研修生が参加しました。また、「救急救助技術」研修も2月に大阪市消防局において開催予定です。これまで同様、研修生には習得した知識や技術

を活かして、自国の消防防災能力強化に貢献することを期待しています。

#### ・国別研修

開発途上国からの個別の要請に基づき実施する国別研修では、これまでベトナム（平成21年度～平成23年度）、中国（平成21年度～平成24年度）、イラン（平成24年度～平成26年度）などの国々へ研修を実施してきました。近年では、平成26年度から平成29年度までマレーシアに対して、「消防行政能力向上プロジェクト」を実施しています。

救急救助技術研修  
(大阪市消防局提供)消防・防災研修  
(北九州市消防局提供)

国際協力を積極的かつ継続的に実施するためには、消防本部をはじめ、関係機関との連携が不可欠です。関係者の皆様には、消防防災分野における国際協力へのご理解とご協力を引き続きお願いいたします。

#### 問合せ先

消防庁国民保護・防災部参事官付  
遠藤国際協力官/廣田係長/長谷事務官/新井事務官  
TEL: 03-5253-7507